

moshi moshi

2004 Vol.24

お医者さんと上手にコミュニケーションしましょ



特定の食べ物でショックを起すほど激しいものは別として、「アトピー体質だからと厳しい食事制限はしない」のがいまでは常識です。成長期にある子どもにたんぱく質食品を食べさせないと成長に影響が出ることがわかったからです。また、少なくとも1才をすぎれば消化能力も上がり、食べさせてもあまり問題が出ないからでもあります。

単一症候性下痢

乳児の便がゆるかったり、緑便だったり、粘液にぶつぶつが混じっていたりなど下痢のような症状があっても、症状は下痢だけで、機嫌がよくて食欲もあり、体重が順調に増えている場合、単一症候性下痢という病名が付けられることがある。下痢の症状はあるけれど、風邪でも、その他の感染症でもないし、アレルギーによるものでもないしと判断された場合につけられる病名で、心配のいらぬ下痢と考えてよい。離乳期であれば離乳食をやめることもない。長期におっぱいだけに制限するとかえって下痢が長引く場合もある。



ペルテス病

太ももの骨である大腿骨上部の血行障害で起こる。股関節、膝などが痛いので、足を引きずって歩くのが特徴。発症年齢は3～12才で、ピークは6～7才。男の子に多い。なぜ血行障害が起こるのかはわかっていない。症状が進んでくると、痛いほうの足が細く、短くなることもあるが、早期に発見して治療をすれば予後はよく、骨が変形することもほとんどない。この病気であれば、股関節を内側に動かすと痛みが、治療しなければ痛みは続く。子どもは疲れから夜中に足を痛めることがあるが、これは翌日には治っていることが多い。

この小冊子の内容は「医師による発育・発達・病気の電話相談」からの内容を抜粋したものです。

03-3219-0797 受付日時 毎週水曜日 14時～17時
(週2回) 毎週金曜日 10時～13時

低身長はメールでも受け付けています

アドレス moshimoshi@pep.ne.jp

ホームページ <http://club.pep.ne.jp/~moshimoshi/>

監修

横田俊一郎先生(横田小児科医院院長)

構成/泉美智子 イラスト・レイアウト/いとうやすこ



小柄なのは卵と牛乳を与えなかったせい？

アトピーだからと厳格な食事指導。
一家でがんばったのですが、
兄弟とも小柄なのが気になります。

—1才2か月Aくんのママの電話相談から—

生後1か月から湿疹がひどく、小児科医の指導で私が牛乳、卵、大豆などをとらずに8か月まで母乳だけ。そのあと野菜と魚、米だけで1才2か月まででしたが、体重が75kg、身長が70cmしかありません。先生・食事制限は医師の指導なので、はい、1才になったときに医師から少し卵を与えてみてと言われてほんの少し与えたのですが、少し湿疹が出たので、もう少し待とうということになりました。実は、上に5才の長男がいるのですが、牛乳や卵を食べていると次男がほしがるので、それで湿疹が少しひどくなる程度なら食べさせていいといわれましたが、何か不安です。

先生・1才になれば消化能力が上がり、たんぱく質食品を食べてもアミノ酸に近いところまで分解できるので、食物アレルギーが出にくくなるのです。この年齢になれば検査で卵がアレルギーであるとして、卵を食べても何の反応も出ない子がほとんどです。

先生・実は長男も次男と同じように小柄なのですが、食事制限とは関係ないですよ。

先生・食物アレルギーであるからと厳格すぎる食事制限をすると、発育や発達が悪くなることはすでにデータがあり、はきりわかっています。そのため、現在では食物アレルギーだからと厳しい食事制限をする医師は少なく、なっているのですが、別の先生に相談してみても手もあります。

先生・私アトピー性皮膚炎は食事制限しないと絶対治らないと信じていました。別の先生の意見も聞いてみます。それにしてもこれまで与えてしまったストレスや栄養不足はもう取り返しがつきませんが。

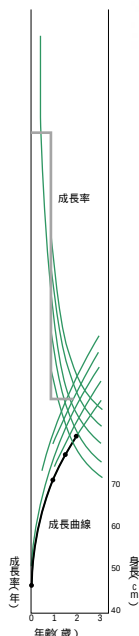
先生・もうすんだことにくよくよしないほうがいいですね。みんなで同じものを楽しく食べることから始めませんか。楽しく家族で食卓を囲むことがもしかしらう子育ての中ではいちばん大切なことかもしれません。



2才で77.8cmの女の子 健診で低身長と言われた

Q 2才児健診で、低身長だから大きい病院で検査をといわれて頭のCT、手のX線、血液検査、尿検査を受けましたが、問題はないとあっさりいわれただけ。もっと詳しい検査をすべきではないかと思うのですが。

A 身長はSD値というもので評価するのですが、このお子さんの身長はそれで評価すると-2SDです。学問的には-2SD以下を低身長というので、その意味では低身長といえますが、生まれたときから小柄で、成長率も標準よりやや低い程度で、標準曲線に沿って伸びていますので、重症のホルモン異常の可能性は低いと思われます。また、よほどの低身長でないかぎり精密検査は4~5才まで待つのが普通です。精密検査となると血液をたくさんとらねばならないし、検査にも時間がかかるので、この年齢では負担が大きく、かわいそうだからです。いまは6か月に一度くらい医師に身長を計測してもらっておいください。その結果、-2SDのラインからどんどん下に落ちて行くようだったら精密検査が必要ですが、同じラインに沿っていく場合はさらに様子をみていくことになるでしょう。



発育 発達

低身長

言葉が
増えない

言葉の数が
増えない1才7か月男児
まわりが早いので
気になる

Q 「パパ」「ママ」「マンマ」くらいはいえるのですが、教えても単語が増えていきません。「この人だれ？」と聞けば「パパ」といえるのですが、私や夫に「ママ」とか、「パパ」と呼びかけてはくれません。私が知っていることはかなり理解していますが、言葉がどんどん増えていくまわりの子を見てあせっています。

A 1才7か月で、少し単語が出ていて、お母さんのということがわかるなら、まず問題はないのではないですか。言葉は単語が出るのが大事と思われがちですが、りんごを見せてりんごといわせても少しも言葉力にはつながりません。言葉はコミュニケーションの道具ですから、何か親に伝えたいと思わせる状況をつくるのがすべてです。ということはよく遊んであげることですね。身振り、手振りで自分の意志をお母さんに伝えることが第一段階です。親のということがわかっていて、身振りや手振りで親とコミュニケーションがとれていれば、必ず言葉は増えていくはず。日々楽しく親子で遊んでいれば、いつの間にか子どもは自然に言葉を身につけていくはず。

